

2 海岸の概況

(1) 自然的地理的特性

①地理的特徴等

本県は、東経 140 度前後、北緯 39 度～40 度前後にまたがる海岸線延長約 264km の南北に長大な海岸をもち、3 つの主要な河川からの流出土砂により広大な能代平野、秋田平野、本荘平野が形成され、海岸線は弧状の砂浜となっている。北端には八森、中央には男鹿半島、南端には仁賀保から象潟までの 3 つの岩礁地帯を有しており、中央の男鹿半島が広大な砂浜海岸を南北に 2 分している。

また、南方からの対馬暖流と北方からのリマン海流の影響により、外国由来のものが漂着するほか、大雨や台風、雪解けの影響により内陸部からの自然物や人工物が漂着しやすい。

冬期間は、北西からの季節風が吹き荒れ、これにより高波が押し寄せる。

②河川の現況

本県には、3 水系 301 河川の一級河川と、7 水系 51 河川の二級河川がある。

ア 一級河川

県内の一級水系は、県北部を東西に流れる米代川、県南東部から中央部を流れる雄物川、県南部を日本海側に注ぐ子吉川の 3 水系となっている。

◆米代川

青森、岩手県境の中岳に源を発し、大湯川などの支川を合わせながら、大館盆地を貫流し、阿仁川、藤琴川等の支川と合流したのち、能代市にて日本海に注ぐ。

米代川流域は、秋田県、青森県及び岩手県の 3 県にまたがり、東県境の奥羽山脈、北方青森県境の田代岳、南の太平山、森吉山に囲まれており、秋田県と青森県にまたがる白神山地では、世界最大級の規模のブナ原生林が分布し、貴重な自然の宝庫として世界自然遺産として登録されている。

◆雄物川

山形県境の大仙山に源を発し、皆瀬川、横手川、玉川などの支川を合わせながら、横手盆地、秋田平野を経て、秋田市において旧雄物川を分派し日本海に注ぐ。

雄物川流域は、東県境の奥羽山脈、西の出羽山地、北の太平山等の山々に囲まれ、流域の北東部には十和田八幡平国立公園、南東部には栗駒国定公園がある。

◆子吉川

秋田、山形県境の鳥海山に源を発し、本荘平野を貫流しながら、石沢川、芋川を合わせて、由利本荘市にて日本海に注ぐ。

子吉川流域は、東の出羽山地、笹森丘陵と南の丁岳山地に囲まれ、流域の南側には鳥海国立公園がある。

【参考：県内の一級水系河川数及び流路延長（令和元年12月31日現在）】

級 別		河川数	流路延長(m)
一級河川	雄物川	173	1,420,183
	米代川	83	905,144
	子吉川	45	408,463
合 計		301	2,733,790

（秋田県建設部河川砂防課ウェブサイトより）

イ 二級河川

県内の二級水系は、五城目町の馬場目岳を源に発し、八郎湖を経て日本海に注ぐ馬場目川や、鳥海山に源を発し、鳥越川などの支川と合流した後、にかほ市にて日本海に注ぐ白雪川などがある。

【参考：県内の二級水系河川数及び流路延長（令和元年12月31日現在）】

級 別		河川数	流路延長(m)
二級河川	馬場目川	23	246,765
	白雪川	3	29,455
	衣川	4	28,850
	奈曽川	2	17,318
	賀茂川	3	7,532
	湖沼	1	10,255
	その他	15	111,122
合 計		51	451,297

（秋田県建設部河川砂防課ウェブサイトより）

【参考：本県の河川海岸図】



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図を複製したものである。

(承認番号 平 22 業複 第 458 号)

(2) 社会的特性

①海岸の利用状況

ア 自然公園

県内には、12 の自然公園があり、うち3つの自然公園は海域を含んでいる。

◆国立公園 (平成31年3月31日現在)(単位: ha)

公園名	指定年月日	全面積			関係市町村
			うち県内面積	うち海域	
十和田八幡平	昭和11年2月1日 (十和田地区) 昭和31年7月10日 (八幡平地区追加)	85,534	(26,813)	-	鹿角市、仙北市、小坂町

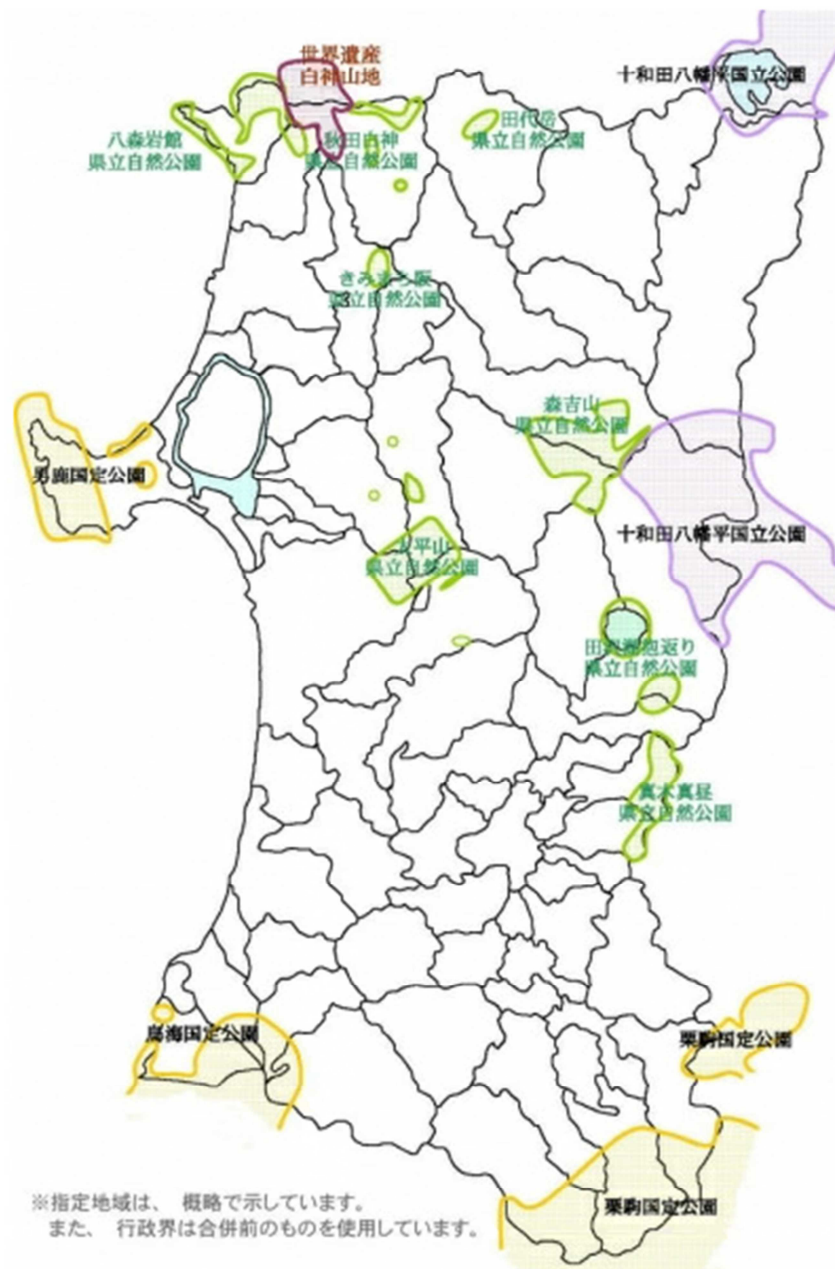
◆国定公園 (平成31年3月31日現在)(単位: ha)

公園名	指定年月日	全面積			関係市町村
			うち県内面積	うち海域	
鳥海	昭和38年7月24日	29,493	(15,940)	(538)	由利本荘市、にかほ市
栗駒	昭和43年7月22日	77,122	(23,207)	-	湯沢市、東成瀬村
男鹿	昭和48年5月15日	11,534	(11,534)	(3,378)	男鹿市

◆県立自然公園 (平成31年3月31日現在)(単位: ha)

公園名	指定年月日	全面積			関係市町村
			うち海域		
田沢湖抱返り	昭和35年4月1日	7,477	-		仙北市
きみまち阪	昭和39年7月16日	599	-		能代市
八森岩館	昭和39年7月16日	2,179	(1,176)		八峰町
森吉山	昭和43年10月1日	15,214	-		北秋田市
太平山	昭和47年7月15日	11,897	-		秋田市、上小阿仁村、五城目町
田代岳	昭和50年1月11日	1,855	-		大館市
真木真昼	昭和50年1月11日	5,903	-		大仙市、美郷町
秋田白神	平成16年8月24日	6,275	-		藤里町、八峰町

(「令和2年度版秋田県県勢要覧」より)



(秋田県生活環境部自然保護課ウェブサイトより)

イ 港湾

県内には、5つの港湾があり、いずれも管理者は県となっている。

種別	港湾数	港湾名（所在市町名）
重要港湾	3	能代港（能代市）、船川港（男鹿市）、秋田港（秋田市）
地方港湾	2	戸賀港（男鹿市）、本荘港（由利本荘市）
計	5	



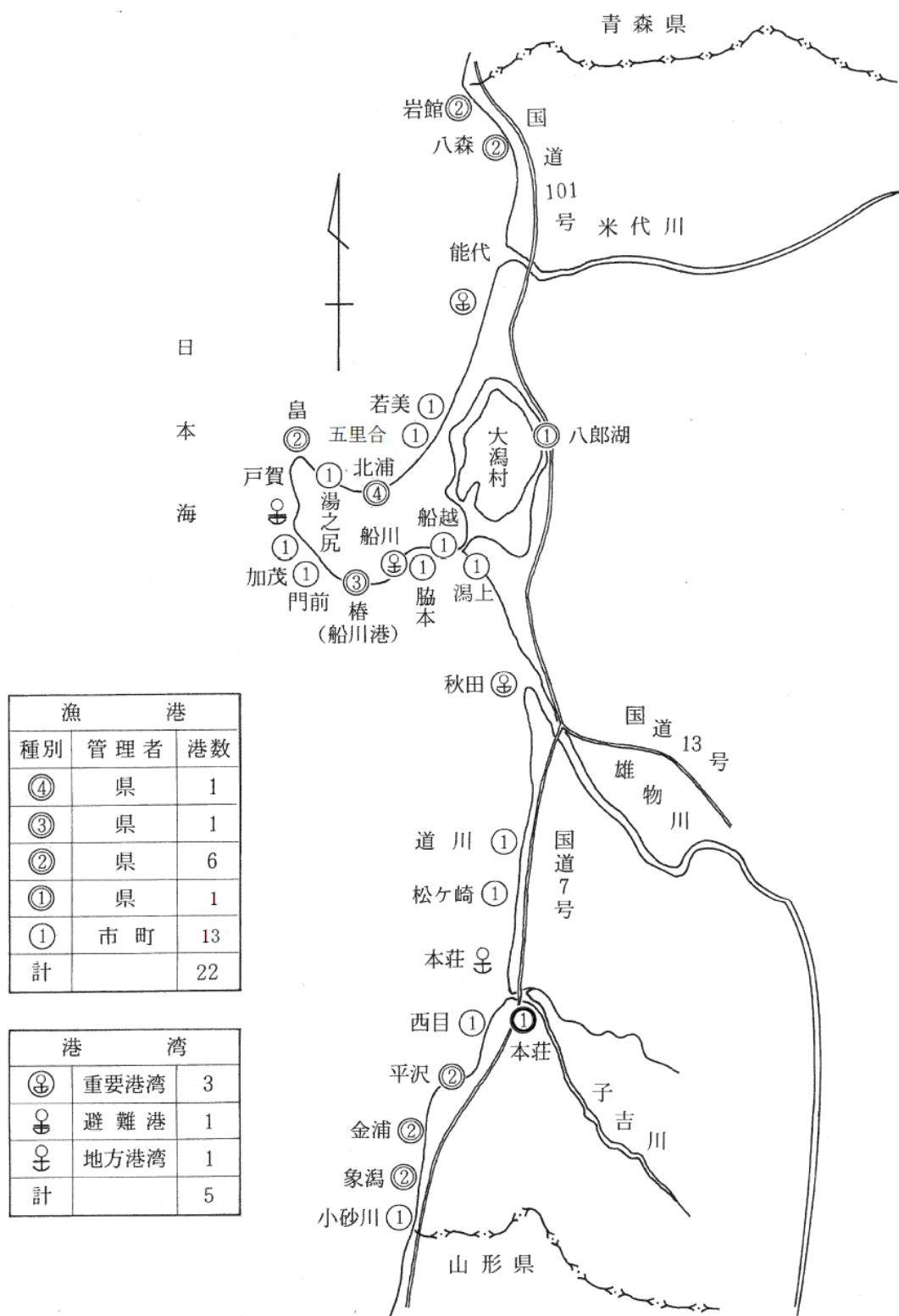
（「海洋状況表示システム」より）

ウ 漁港

県内には、22 の漁港があり、うち 9 を県が管理し、13※を地元市町が管理している。

種別	県管理 漁港数	漁港名（所在市町名）	市町管理 漁港数	漁港名（所在市町名）	計
第 1 種	1 ※	八郎湖（八郎潟町）	13※	若美（男鹿市）、五里合（男鹿市）、湯之尻（男鹿市）、加茂（男鹿市）、門前（男鹿市）、脇本（男鹿市）、船越（男鹿市）、潟上（潟上市）、道川（由利本荘市）、松ヶ崎（由利本荘市）、本荘（由利本荘市）※、西目（由利本荘市）、小砂川（にかほ市）	14
第 2 種	6	岩館（八峰町）、八森（八峰町）、畠（男鹿市）、平沢（にかほ市）、金浦（にかほ市）、象潟（にかほ市）	—	—	6
第 3 種	1	椿（男鹿市）	—	—	1
第 4 種	1	北浦（男鹿市）	—	—	1
計	9 ※		13※		22

※「本荘（由利本荘市）」は、令和 3 年 4 月 1 日から市管理漁港。



※位置図は、令和3年4月1日時点のもの。

(「秋田県水産関係施策の概要」より)

エ 海水浴場

県内には、16 の海水浴場がある。



(「海洋状況表示システム」より)

②人口分布

本県の人口は、2019 年（令和元年）10 月 1 日現在、965,927 人であり、うち沿岸 8 市町の人口は、約 536,000 人と、県全体の人口の約 55%を占めている。沿岸市町では、人口が多い順に秋田市（約 306,000 人）、由利本荘市（約 75,000 人）、能代市（約 51,000 人）となっている。

県内 3 つの一級河川に接している市町数は、10 であり、その人口は、県全体の人口の約 81%となっている。

一級河川名	一級河川が流れる市町村（A）	Aにおける市町村の人口計※（B）	県全体の人口における B の割合（A／B）
米代川	能代市、北秋田市、大館市、鹿角市	約 784,000 人	約 81%
雄物川	秋田市、大仙市、横手市、湯沢市、羽後町		
子吉川	由利本荘市		

※「秋田県年齢別人口流動調査」より

【参考：本県の市町村別人口分布】

